

# 平成27年度 事業報告

## I 総括

平成27年度は、北朝鮮による水爆実験や長距離射程のミサイル発射、衰えない中東におけるISのテロ活動など不安定な世界情勢が続き、経済的にも原油安が石油燃料の低価格化を齎すという一面、金融不況の引き金を懸念する声もあり、不安定な状況が続いています。TPPは大筋合意を迎えたものの、アメリカ大統領選の結果の如何では協定の実効性に大きく影響することも想定されます。

日本経済は、日銀がマイナス金利を導入し、確然的な効果が見えないアベノミクスへの梃入れを図っているものの、春闘では業績不透明を理由にベースアップの幅が縮小し、デフレ脱却への道程が遠いと感じさせ、緩やかな回復基調にあるものの弱さを見せる結果となっています。中国経済の失速等も相俟って、国内外の経済状況は不透明な状況です。

環境に関しては、COP21で締結されたパリ協定において「世界の平均気温上昇を2度未満に抑える」目標に向けて、世界全体で今世紀後半には人間活動による温室効果ガス排出量を実質的にゼロにしていく方向が打ち出されました。温暖化との因果関係は必ずしも明らかではありませんが、昨年夏は東京では8日間連続で猛暑日を記録し、昨年度同様、暑い夏となりました。また、関東や東北が豪雨に見舞われ鬼怒川堤防が決壊して大きな被害が出るといった異常気象が今年度も顕著でした。

一方、今年の世相を表す漢字は「安」でしたが、ゴムメーカーによる免震装置・防振ゴム製品のデータ改竄や、世界的自動車メーカーによる自動車排出ガスのデータ偽装、オリンピック・パラリンピックを巡る新国立競技場の計画見直し・エンブレムの白紙撤回など、不安につながる出来事も多く、当協会も設備の防振性能調査等に追われる事となりました。

下水道事業に関しては、オリンピック・パラリンピック大会の競技施設に下水道の技術を利用する調査や、大規模地震に備えるべく揚水設備・電源設備などの耐震性能の調査・対策の検討を局と連携して実施しました。加えて契約不調対策の原因調査や対策の提案等、今年度は局事業の推進に関連する業務に例年になく多く取り組みました。

更に、局職員・TGS社員の技量向上に資する研修教材の作製を受注し、動画を活用した教材を作成するなどにも新たに取り組みました。

協会主体の活動は、要望活動については、要望に対して各種の改善が行われて来たものの、残された課題に関する詳細なアンケートを実施し、意見交換・要望に繋げました。

次に、工事の安全管理や関連技術の広報普及を目的とした公開講演会も、内容を工夫し、局下水道技術実習センターを活用した安全管理の実体験研修を行う等、公益目的の事業として活性化を図りました。

新たな取り組みとして、会員の若手社員や事務職社員の下水道に関する関心や知識を深めることを目的に、下水処理の流れに沿って水再生センターを詳細に見学し学習する実務的な研修を実施し、参加者からは好評でした。

広報分野においても、下水道展の協会ブースの展示方法の工夫や、下水道事業並び

に当協会のプレゼンスを高めるために、一般新聞の首都圏版に東京下水道の特長を判り易いイラストで表現した全面広告を掲載し、関係者から評価をいただきました。更に、協会のホームページも最新の情報を取り入れ全面リニューアルしました。

さて、今年度末の2月には、都下水道局は今後の5ヶ年にわたる「経営計画2016」を策定・公表しました。中でも建設投資は、オリンピック・パラリンピック大会に向けて集中的に事業に取り組むため、年間1700億円を上回る規模に増額され、設備関連では水再生センター・ポンプ所の耐震対策を平成31年度末までに完了、レーダーを最新式に更新した東京アメッシュにより精度の高い降雨情報を提供、合流改善対策を加速する等の方針が示されました。エネルギー関係では、総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギー等の割合を16%に、かつ、温室効果ガスを2000年度比で25%以上削減するため、太陽光発電の更なる導入、低温域の焼却廃熱を活用した新たな発電、省エネルギー型の汚泥濃縮機や汚泥脱水機の設置、エネルギー自立型汚泥焼却システムの導入と多くのメニューが記載されています。

新しい経営計画や、既存の諸計画に的確に対応し下水道事業の推進に貢献するために、協会は一丸となって努力と工夫を重ねていきます。

以上の、具体的な実績・内容等につきましてはIIの事業実績に於いて報告します。

## II 事業実績

平成27年度における事業は、定款第4条（事業）に記載の事業に基づいて実施しました。

### 1 下水道設備に関する設備技術の向上・改善及び維持管理に関する調査・研究

#### (1) 技術の調査研究

- ① 日時 平成27年11月6日（金）
- ② 場所 長岡市環境衛生センター、(株)長岡バイオキューブ、長岡技術科学大学姫野研究室
- ③ 参加者 会員30名
- ④ 内容 (株)長岡バイオキューブは生ごみの持つエネルギーの大部分を発酵ガスとし、ガスエンジンによって発電するとともに、発酵後の脱水残渣も乾燥してセメント工場に売却しコスト低減を図る事業を行っています。BTO方式のPFI事業で、環境省の循環型社会形成推進交付金を受けた事業です。65トン/日のごみを受け入れ年間2000トンの温室効果ガス削減を行っています。

長岡技術科学大学の実験設備では、刈草の混合嫌気性消化と脱水技術、バイオガスの利用と精製技術の2テーマに取り組んでいます。バイオガスの利用についても、最も藻類油を多く回収出来る藻を培養する研究ではなく、下水処理場の設置環境や、実際のバイオガスから回収したCO<sub>2</sub>を利用し「変動する水質の中で何が出来るか」の見極めに注力しているのが印象的でした。両テーマともに、創・省エネルギー

一の工夫として貴重で参考となる内容でした。

(2) 東京都の技術開発に対する支援

都下水道局との共同研究については、公募型共同研究、ノウハウ+フィールド提供型共同研究、簡易提供型共同研究、開発技術の導入を前提とした共同研究などがあり、年間を通じて支援しています。会員はそれぞれの目的の下に共同研究などの技術を活かした事業化に取り組んでいます。

## 2 下水道設備に関する情報、資料の収集及びその普及啓発

(1) 説明会及び意見交換会

1) 下水道局事業説明会

年度当初に局幹部を講師として招き当該年度の事業概要と設備関連の事業動向等について説明して頂くもので、下記のように実施しました。

- ① 日 時 平成27年6月2日(火)
- ② 場 所 明宝ビル キルビー学院会議室
- ③ テーマ 平成27年度下水道事業と今後の展望、平成27年度の区部下水道建設事業
- ④ 講 師 東京都下水道局計画調整部事業調整課長及び建設部設備設計課長
- ⑤ 参加者 会員52名

(2) 要望活動

1) 下水道設備工事に関する要望活動

- ① 日 時 平成27年9月2日(水)
- ② 場 所 都庁新宿庁舎会議室及び流域下水道本部会議室
- ③ 要望先 東京都下水道局：下水道局長・技監及び本庁部課長  
流域下水道本部：本部長・流域下水道本部部課長
- ④ 内 容 下水道設備工事に関する諸課題について会員からのアンケート等に基づいて整理し、会長はじめ常任幹事・調査委員長及び事務局が出席し、下記事項について文書で要望しました。
  - ・建設工事等の担い手の育成・確保については長期に亘る人材育成が必要なことから、最低制限価格制度対象工事について、3年間の臨時的措置終了後も継続
  - ・導入を前提とした共同研究は、インセンティブを付与する仕組みによって積極的な開発を行った成果が出ている。評価された機器等の導入には時間がかかるが、速やかな導入及び事後評価の実施
  - ・先行工事の遅れで工期延長となる場合の費用の負担と、算定方法の簡便化
  - ・異種工事の原則別途発注と、止む得ず合体化させる場合には設備事業者の見積りを採用
  - ・設備再構築基本計画における経済的耐用年数等について、実態に見合った年数設定など
  - ・積極的に技術開発に取り組めるよう技術開発のニーズ提供を適切に

(3) 「下水道の現場を見よう」研修

- ① 日 時 平成27年10月7日(木)

② 場 所 下水道局新河岸水再生センター

③ 参加者 会員42名

④ 内 容 会員の若手社員や事務職社員の下水道に関する関心や知識を深めるために、下水の流入から汚泥焼却、エネルギー利用までを処理の流れに沿って水再生センターを詳細に見学し、自分達が会社で携わっている業務が実際にどの様に事業化されているかを研修しました。参加者からは好評でした。

(4) 日本発！暮らしを支える底力「下水道展’15東京」に出展

① 日 時 平成27年7月28日(火)～7月31日(金)

② 場 所 東京ビッグサイト東展示場

③ 内 容 展示場に協会ブースを設けて下水道及び当協会のPRを行い、約400名の方が協会ブースを訪れました。一昨年同様、都下水道局の事業の中に占める会員の設備の割合を地図上に表すなど、来訪者の方が局事業の質やボリュームを感じ、会員の技術がそれに貢献していることを理解して貰える工夫を行いました。加えて模型教室「～地図で見つける下水道～ 立体地図・東京都模型みえーる君」を実施し、主に親子の方などの関心を深めることが出来ました。

また、下水道局を通じて小学校の教員グループに模型を提供する等し、啓発活動のコラボレーションを図りました。

(5) 東京下水道関連団体交流会

東京都の下水道事業を支える東京都下水道サービス(株)、下水道メンテナンス協同組合、(一社)東京下水道設備協会間の連携を深め、異業種と交流することを目的に、次の研修を実施しました。

1) 相互理解研修

① 日 時 平成27年9月18日(金)

② 場 所 下水道技術実習センター、砂町水再生センター、東部スラッジプラント、南砂雨水調整池

③ 目 的 東京の下水道事業全体の把握と三者の役割の理解促進

④ 参加者 86名(会員26名)

⑤ 内 容 三者の役割等に関する講義、砂町水再生センター、東部スラッジプラント、南砂雨水調整池の視察

2) 維持管理研修

① 日 時 平成27年11月20日(金)

② 場 所 芝浦水再生センター再生水施設、品川シーズンテラス熱供給施設、第二溜池幹線

③ 目 的 維持管理技術の研鑽と下水道事業における共通認識の向上

④ 参加者 65名(会員14名)

⑤ 内 容 三者による維持管理技術の現状等の講義、再生水施設、熱供給施設及び下水道管渠工事現場の視察

3) 海外視察研修

① 日 時 平成27年10月28日(水)～11月5日(木)

② 場 所 ドイツ・ヴィースバーデンにおける下水処理や管渠工事、同ケルンの下水処理や下水道史跡博物館、ベルギー・アントワープにおける下水処

理、オランダ・アムステルダムで開催されたアクアテック2015国際展示会の状況

③目的 海外における下水道事情調査

④参加者 19名（会員2名）

#### 4) 海外視察研修報告会

①日時 平成28年2月10日(水)

②場所 東京都下水道サービス(株)本社会議室

③目的 海外視察研修に関する情報の共有化

④参加者 54名（会員6名）

### 3 機関誌等の発行を通じて下水道事業の普及啓発

#### (1) 機関誌「下水道設備」の発行

当協会において実施した事業活動状況の報告及び会員間の交流の場として、レポート・随筆等の紹介、さらに東京都の下水道事業動向などを掲載し、年間を通じて新年・春季・秋季に発行しました。

①発行時期 1月、5月、10月の年間3回の発行

②発行部数 各回毎に850部を発行

③配布 無料配布で、会員及び関係機関等を対象

#### (2) 機関誌「下水道設備」の内容をホームページに掲載

協会ホームページに「下水道設備」の目次を掲載し、下水道技術の普及啓発を行いました。

### 4 講演会及び講習会の開催

#### (1) 公開講演会

①日時 平成27年11月26日(木)

②場所 角筈区民ホール

③テーマ 「家康が用意した首都・東京」

④講師 元国土交通省河川局長、公益財団法人リバーフロント研究所・研究参与、日本水フォーラム代表理事及び事務局長 竹村 公太郎 氏

⑤参加者 103名。会員、下水道局・TGS、一般の方がほぼ1/3づつで、興味あるテーマの場合、一般の方でも多くの方が参加されることが判りました。

⑥内容 「歴史は人の動きや気象の動きで見る事が一般的だが、地形が歴史を作るという側面で見ると違った見方が出来る。古くは、奈良盆地の沼に土砂が流れ込み耕地が広がり生産力が高まったため大和朝廷が成立した。しかし、木を伐採し尽くしたため長岡京に遷都した。」「家康は当時の中心地でない関東の地を与えられたとき樹木が多く作物も採れる平野をみて寧ろ喜び江戸幕府に繋がった。」等といった地政学的な視点からの興味深い話でした。

#### (2) 公開安全管理講習会の開催

- ① 日 時 平成27年11月2日（月）
- ② 場 所 東京都下水道局下水道技術実習センター
- ③ 項 目

ア 講習会

- ・講 師 全国仮設安全事業協同組合 朝田 昭造氏 佐久間敦司氏
- ・参加者 30名（会員）、4名（下水道局職員）、15名（TGS社員）、計49名
- ・内 容 手すり先行型足場の導入に東京都が率先して取り組んできた状況の説明、事故事例について写真で具体的な解説があり、強風時や解体時等に大きな事故が起きていることが解説されました。設備の場合は入った所に設置しなければならない足場が多く、多少状況は異なるものの非常に参考となる講習でした。

イ 体験研修

- ・講 師 全国仮設安全事業協同組合 朝田 昭造氏 佐久間敦司氏
- ・参加者 30名（会員）
- ・内 容 下水道技術実習センターに組まれている3種類の足場を使った具体的な説明によって理解を深める事が出来ました。

## 5 東京都の下水道事業に関する施策に対する協力

### （1）工事安全パトロールの実施

- ① 日 時 平成27年11月25日（水）
- ② 場 所 流域下水道本部北多摩二号水再生センター
- ③ 対 象 北多摩二号・浅川水再生センター間連絡管機械設備工事：(株)クボタ  
北多摩二号・浅川水再生センター間連絡管電気設備工事：メタウォーター(株)  
沈砂池機械設備整備工事：前澤工業(株)
- ④ 参加者 30名(会員26名、下水道局職員4名)
- ⑤ 内 容 公開安全管理講習会の成果も踏まえ、会員相互に工事現場を検証して安全管理能力向上を図ると共に、実際の工事現場で指摘された改善点は、後日改善し検証しました。最終的には報告書として整理し、都下水道局に提出するとともに全会員に配布しました。  
なお、当協会員による重大(死亡)事故ゼロ日の達成記録は継続中であり、3月末現在で4,701日となりました。

### （2）東京都と連携した広報

一般新聞の首都圏版に都下水道局と連携し、東京下水道の特長を判り易いイラストで表現した全面広告を「下水道の日」にあわせて掲載し、都民の方や関係者に対し広範なPRを行いました。また、下水道展において東京下水道の仕組みの理解を深める模型教室を開催し、広報を実施しました。

### （3）災害時における水再生センター等の応急復旧業務に関する協定に基づく業務

#### 1) 東京都下水道局の防災訓練に参加

- ① 日 時 平成27年10月9日（金）
- ② 内 容 災害時の応急復旧訓練として、下水道局本庁部署との情報連絡訓練

を実施しました。

2) 協定における出動体制・連絡体制の見直し

出動体制表を下水道局設備の主要設備ごとに対応したものとすると共に、連絡体制表を常時連絡がとれるものに見直し、両表を下水道局に提出しました。併せて各会員にも、関係する部分に整理した表を配布し共有化を図りました。

3) 東京都総務局業務用MCA無線機の配備と通信訓練の実施

① 日 時 平成27年4月16日(木)

② 内 容 大規模災害発生時における東京都下水道局と当協会間の通信手段確保のために配備された業務用MCA無線機を用い、局との間で通信訓練を実施しました。

(4) 下水道局の実務研修への支援

① 日 時 平成27年10月13日(火)～10月16日(金)

② 目 的 当該研修は、水再生センターやポンプ所に設置されている設備の管理手法について、保全管理業務に従事する下水道局職員を計画的に育成する目的で下水道局が実施するもので、当協会の会員技術者が講師となって支援するものです。

③ 対 象 主ポンプ設備、高圧電動機設備に関する保全管理研修をしました。今回の研修には保全管理業務に従事する下水道局設備技術系職員、東京都下水道サービス(株)職員等が研修生として参加しました。

## 6 下水道事業に関する調査等の受託事業

(1) 新砂ポンプ所ほか2か所電気設備再構築基礎調査

① 期 間 平成27年10月19日(月)～平成28年2月23日(火)

② 内 容 新砂二ポンプ所、東糞谷ポンプ所、白髭西ポンプ所の電気設備現況を調査して再構築工事等に必要な資料を作成しました。

(2) 下水道設備設計標準化作業委託

① 期 間 平成27年8月4日(火)～平成28年2月10日(水)

② 内 容 電気設備の設計の標準化を図るための作業を行いました。

(3) 設備実習テキストの修正作業

① 期 間 平成28年1月7日(木)～平成28年3月18日(金)

② 内 容 下水道実習センターに設置されている設備実習施設を用いた実習のテキストについて修正を行う作業を行いました。

(4) 下水道設備教材作成業務委託

① 期 間 平成27年12月7日(月)～平成28年3月11日(金)

② 内 容 遠心脱水機の内部構造や動作機能等をコンピュータグラフィックにより映像化した教材を作成する作業を行いました。

(5) 監視制御設備データ通信基礎調査

① 期 間 平成27年10月19日(月)～平成28年2月23日(火)

② 内 容 遠制御監視制御装置の信頼性向上対策の現状調査及び信頼性向上対策の基礎調査を行いました。

## 7 共益事業

### (1) 賀詞交歓会

平成28年1月6日(水)ロイヤルパークホテル本館において、(一社)日本下水道施設業協会と合同で賀詞交歓会を開催しました。下水道事業を取り巻く環境は相変わらず厳しいものがありますが、東京都・国土交通省等のご来賓のご挨拶を受けながら会員が一堂に会し、新年の新たな取り組みなどについて意見交換等を行いました。

### (2) 会員会報「設備協だより」の発行

会員へのお知らせ・報告等を適宜整理して毎月メールで送信しました。

- ① 発行時期 毎月1回(年間12回)の発行、臨時号を1回発行。
- ② 発行方法 各会員の正・副連絡者宛に毎月の下旬に送信
- ③ 内 容 当協会における活動内容及び都庁関連情報等

### (3) 公共設備技術士フォーラムとの共催

当協会は、技術士の団体である「公共設備技術士フォーラム」と共催して各種公共施設等の視察を春・秋に、また、講演会を年間2回実施しています。

#### 1) 春季講演会

- ① 日 時 27年6月11日(木)
- ② 場 所 自動車会館 会議室
- ③ テーマ 「持続可能な都市圏水利用システムの実現に向けて」
- ④ 講 師 東京大学大学院工学系研究科教授 古米 弘明 氏
- ⑤ 参加者 19名(会員)

#### 2) 秋季講演会

- ① 日 時 平成27年11月5日(木)
- ② 場 所 自動車会館 会議室
- ③ テーマ 「水道水水質基準値の根拠とリスク管理」
- ④ 講 師 福島県立医科大学准教授 村上 道夫 氏
- ⑤ 参加者 10名(会員)

#### 3) 秋季サイト研修会

- ① 日 時 平成28年2月10日(水)
- ② 場 所 JAXA相模原キャンパス及び相模原市立博物館
- ③ 参加者 10名(会員)

## 8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 協会ホームページの全面リニューアルを行い、各会員固別のホームページとのリンクを強化し会員の技術をPRすると共に、過去の機関誌の全部の目次を掲載し、当協会の事業活動を広く公開しました。

(2) 専門紙・誌へ広告を掲載し、協会や会員のPRを積極的に行いました。

(3) 下水道職員健康駅伝大会への参加

平成28年2月6日(土)、協会のPRや、会員の社員・職員の健康向上、関係者との親睦を目的とし、第30回下水道職員健康駅伝大会に参加しました。協



会の名をプリントしたビブスや幟によって、統一感のあるプレゼンスを示す事が出来ました。

### Ⅲ 会議等の開催状況

#### 1 理事会

##### (1) 第1回理事会

第40回定時総会に伴い、平成27年5月13日に開催しました。

第1号議案：公益目的支出計画実施報告書及び監査報告の件

以上の議案を慎重に審議し、全員の賛同により、その結果を第40回定時総会に提案しました。

##### (2) 第2回理事会

平成28年2月26日に開催しました。

第1号議案：平成27年度収支予算の変更の件

第2号議案：平成28年度事業計画及び収支予算の件

第3号議案：特定積立金取崩しの件

第4号議案：規程改定の件

以上の議案を慎重に審議し、全員の賛同が得られました。

#### 2 総会

##### (1) 第40回定時総会

平成27年5月13日に開催しました。片岡会長が議長となり、第1回理事会から提案された案件について審議し、原案のとおり議決・承認されました。

#### 3 その他

##### (1) 常任幹事会及び委員会等

常任幹事会、7つの委員会及び3つの部会の活動日程とその概説については、下記の記録をご覧ください。

平成27年度 常任幹事会・各種委員会等記録

日付	委員会等	場所	概説
4月22日	拡大幹事会	当協会会議室	総会議案について
4月22日	業務委員会	〃	総会運営について
5月8日	電機部会	〃	下水道技術実習センター用テキストの内容について
5月14日	広報委員会	〃	下水道展について
5月15日	東京下水道関連 団体交流会	日本ビル会議室	平成27年度活動予定について
5月18日	調査委員会	当協会会議室	要望活動について
5月18日	事業委員会	〃	事業説明会について
5月19日	調査委員会	〃	要望活動について
5月20日	常任幹事会	〃	下水道展他について
5月22日	処理装置部会	〃	沈砂池機械設備耐震性能調査について
5月25日	技術委員会	〃	平成27年度の活動について
5月27日	電機部会	〃	電気設備耐震性能調査について
6月9日	常任幹事会	当協会会議室	要望活動について
6月15日	広報委員会	〃	広報戦略、機関誌121号他について
6月18日	安全管理委員会	〃	平成27年度の活動について
6月19日	維持管理委員会	〃	設備再構築に関する調査について
6月19日	事業説明会	〃	平成27年度の活動について
6月22日	3部会	〃	2020年オリンピック・パラリンピック会場設備の技術検討について
6月23日	3部会	〃	〃
6月25日	風水力部会	〃	主ポンプ設備の耐震性能調査について
6月26日	処理装置部会	〃	沈砂池機械設備耐震性能調査について
7月2日	電機部会	〃	電気設備耐震性能調査について
7月3日	調査委員会	〃	要望活動について
7月6日	東京下水道関連 団体交流会	日本ビル会議室	研修内容について
7月8日	調査委員会	当協会会議室	要望活動について
7月9日	調査委員会	〃	要望活動について
7月14日	常任幹事会	〃	要望活動他について
7月17日	広報委員会	〃	下水道展について
7月22日	広報委員会	〃	〃
7月22日	調査委員会	〃	要望活動について
7月23日	3部会	〃	2020年オリンピック・パラリンピック会場設備の技術検討について
8月03日	調査委員会	都庁会議室	東京都下水道局への要望事項について
8月07日	電機部会	当協会会議室	電気設備耐震性能調査について
8月17日	拡大幹事会	〃	要望活動他について

日付	委員会等	場所	概説
8月26日	電機部会	〃	自動制御設備設計マニュアル改定について
9月1日	電機部会	〃	自動制御設備設計マニュアル改定について
9月3日	処理装置部会	〃	下水道設備教材作製について
9月3日	事業委員会	〃	局施設視察見学会について
9月7日	東京下水道関連 団体交流会	日本ビル会議室	研修内容について
9月9日	電機部会	当協会会議室	自動制御設備設計マニュアル改定について
9月9日	安全管理委員	下水道技術実習 センター	安全管理講習会、安全パトロールについて
9月10日	電機部会	〃	電気設備耐震性能調査について
9月15日	常任幹事会	〃	視察、公開安全管理講習会、公開講演会について
9月29日	調査委員会	〃	要望事項の結果について
10月1日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（白髭西ポンプ所）について
10月1日	処理装置部会	当協会会議室	下水道設備教材作製について
10月5日	東京下水道関連 団体交流会	日本ビル会議室	研修内容について
10月6日	電機部会	当協会会議室	電気設備耐震性能調査について
10月8日	風水力部会	〃	主ポンプ設備の耐震性能調査について
10月9日	電機部会	〃	自動制御設備設計マニュアル改定について
10月14日	常任幹事会	〃	技術視察他について
10月14日	電機部会	都庁会議室	自動制御設備設計マニュアル改定について
10月16日	風水力部会	当協会会議室	主ポンプ設備の耐震性能調査について
10月21日	電機部会	〃	電気設備耐震性能調査について
10月22日	処理装置部会	〃	下水道設備教材作製について
11月4日	広報委員会	〃	機関誌122号について
11月4日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査について
11月10日	常任幹事会	当協会会議室	協会ホームページ他について
11月12日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
11月17日	東京下水道関連 団体交流会	日本ビル会議室	研修内容について
11月18日	電機部会	当協会会議室	自動制御設備設計マニュアル改定について
11月25日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
11月27日	電機部会	都庁会議室	自動制御設備設計マニュアル改定について
11月30日	技術委員会、 3部会長会	当協会会議室	受託事業に含まれない技術研修について
12月2日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（新砂ポンプ所）について
12月8日	常任幹事会	〃	3部会長会他について
12月18日	処理装置部会	〃	下水道設備教材作製について
12月18日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
1月7日	電機部会	〃	自動制御設備設計マニュアル改定について

日付	委員会等	場所	概説
1月7日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（東糞谷ポンプ所）について
1月8日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（新砂ポンプ所）について
1月12日	電機部会	当協会会議室	監視制御設備データ通信基礎調査について
1月13日	電機部会	〃	下水道技術実習センター用テキストの内容について
1月19日	常任幹事会	〃	H27年度第2回理事会他について
1月20日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（白髭西ポンプ所）について
2月1日	処理装置部会	当協会会議室	下水道設備教材作製について
2月3日	東京下水道関連 団体交流会	日本ビル会議室	研修報告書について
2月8日	電機部会	当協会会議室	自動制御設備設計マニュアル改定について
2月10日	電機部会	〃	下水道技術実習センター用テキストの内容について
2月16日	拡大幹事会	〃	平成27年度第2回理事会議案他について
2月17日	電機部会	都庁会議室	自動制御設備設計マニュアル改定について
2月18日	電機部会	〃	電気設備再構築基礎調査（新砂ポンプ所）について
2月18日	処理装置部会	当協会会議室	下水道設備教材作製について
2月18日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（白髭西ポンプ所）について
2月24日	維持管理委員 会、調査委員会	当協会会議室	設備再構築基本計画について
3月2日	広報委員会	当協会会議室	機関誌123号他について
3月8日	常任幹事会	〃	部会活動について
3月9日	電機部会	〃	下水道技術実習センター用テキストの内容について
3月10日	処理装置部会	〃	下水道設備教材作製について
3月17日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（東糞谷ポンプ所）について
3月22日	電機部会	〃	監視制御設備データ通信基礎調査について
3月22日	東京下水道関連 団体交流会	日本ビル会議室	次年度の活動予定について
3月30日	処理装置部会、 調査委員会	当協会会議室	沈砂池機械設備工事について
3月30日	電機部会	都庁会議室	電気設備再構築基礎調査（東糞谷ポンプ所）について